

せお内科クリニック

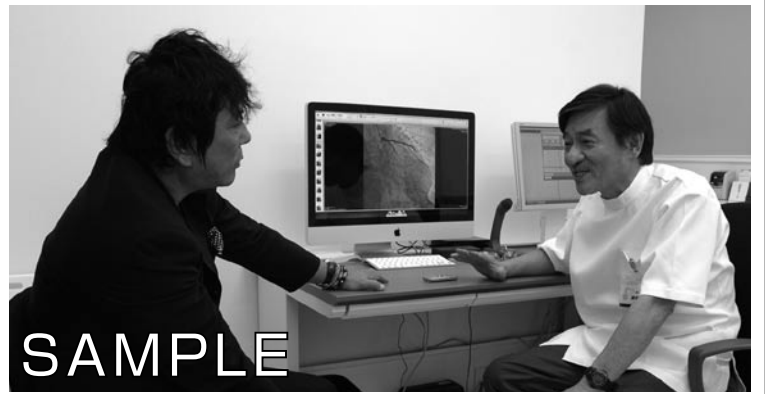
循環器内科・内科

大阪府大阪市北区中津1-2-21 中津明大ビル1F

TEL/FAX.06-6373-2222

http://seo-naika-clinic.com/

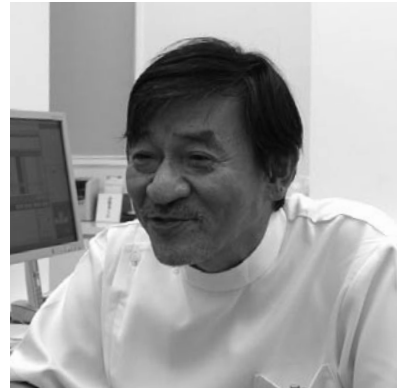
対談 院長 インタビューー
瀬尾 俊彦 × **大仁田 厚**
循環器専門医・超音波専門医
 インターベンション治療学会指導医 [プロレスラー・元参議院議員]



SAMPLE

INTERVIEW
 TOSHIHIKO SEO × ATSUSHI ONITA

病院との連携で大手術の執刀も可能。昔ながらの「人」を診る医療を実践！



大仁田 十一月一日に開院予定だそう、おめでとございます(対談日:平成二十四年十月二十二日)。まずは瀬尾院長が医師を目指そうと思われたきっかけからお聞きしたいと思います。

瀬尾 私は昔ながらの人間くさい付き合いが好きで、大学受験で将来の方向を考える際も普通のサラリーマンになるより、人とかかわりながら資格を取得し、一人でも生きていけるような仕事に就きたいと思っていました。いくつかの選択肢がある中で医師を目指したのは、育ちや環境に関係なく様々な人と直に接することができるという点に魅力を感じたからです。

大仁田 院長のご専門は循環器だそうですが、なぜ循環器を選ばれたのですか。

瀬尾 循環器は人の生死にかかわる臓器であり、人を助けるといふ側面が大きい分野であることに大きなやり甲斐を感じたからです。生死にかかわるといふと、大掛かりな外科的手術をイメージされる方が多いと思いますが、実は循環器は内科の延長として、それほど大掛かりな設備がなくてもカテーテルなどで手術ができるのです。つまり

大病院でなくとも人命を救うことができる点も循環器を選択した要因でした。

大仁田 では、開院に至るまでの経緯についてお聞かせ願えますか。

瀬尾 私はここからすぐの済生会中津病院で二十六年にわたり勤務し、最後は循環器部長を務めました。自分の専門を生かした分野で活躍できることは大きなやり甲斐でありましたが、反面、診療以外に時間を取られることが多くなり、そのため本来望んでいるような、患者さんの性格や生活状況などをじっくり把握しながら「人」を診ることができなくなりました。時間の制約から「人」と切り離し、単純に「病気」だけに向き合う日々疑問を感じるようになった私に、一年ほど前から独立を意識し始め、現場でじっくり患者さんと接しながら一生現役で医療に従事したいとの思いを強めたため、独立・開院に踏み切った次第です。

大仁田 以前の勤務先が近いというのは、患者さんの安心にも繋がりますよね。

瀬尾 そうですね。以前から診ている患者さんも通って頂けますし、済生会中津病院とはしっかりと連携体制を敷いているため、大きな手術の場合は私が出向いて執刀することも可能です。今まで果たしてきた役割も継続した上で、地域での診療機会を増やせるような開院になったことは、私自身も嬉しく思っています。

大仁田 大阪の中心部からも近いですが、どのような患者さんが多いのですか。

瀬尾 確かに中心部と隣り合わせですが、この辺りは昔ながらの下町で雰囲気はまったく違います。また、開業医が少なく、昔か

① INFORMATION

地域と共に歩んでいける医院を目指します



SAMPLE



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前診 8:45~12:15	●	●	●	／	●	○	／
午後診 4:00~ 7:00	●	●	●	／	●	／	／

●土曜日の受付終了時間は12時45分です

ら住まわれている方も多いため、高齢者や車椅子の方でも気軽に足を運んで頂けるよう、院内はバリアフリーとして待合室は広く取っています。

大仁田 いよいよ瀬尾院長の目指す医療をスタートすることができそうですね。「人間くさい付き合いが好き」と冒頭でおっしゃっていましたが、特にどのようなことを心掛けているとおっしゃいますか。

瀬尾 患者さんと接する時間をできる限り長くして状況を細かく分析しながら、「人」としての医療を行なえるようにしたいですね。実は介護現場についても知らなければ重症者の事情は把握できないと思います、ケアマネージャーの資格も取得しました。

大仁田 飽くなき向上心が素晴らしいですね。幅広い視点を大切にされていることが分かります。本当に尊い仕事ですが、特にどのような時にやり甲斐を感じますか。

瀬尾 生死をさまよわれた方が手術によって助かる瞬間の、あの喜びは本当に感動的

なものですね。どんどん元気になっていける姿を拝見していると、この仕事に就いて良かったと心から実感しますね。二十年ほど前に手術で一命をとりとめた方が、その後も元気な顔を見せて下さるのも嬉しいです。それだけに医師と患者の間柄ではなく、「人」としての繋がりを感ずるお付き合いをさせて頂きたいと肝に銘じています。

大仁田 開院を控えて希望に満ちておられると思いますが、将来への目標や夢についてひと言お願いします。

瀬尾 地域の皆様の身近な場所、大病院のような難しいシステムとは無縁の中で、何でも相談して頂けるような、昔ながらの気持ちの通う診療を行ないたいと思っています。そして私と志を同じくする医師が増え、皆で地域を支えていける社会になることを切に願っています。

大仁田 院長の人に対する温かさが伝わってくるお話でした。「人」との繋がりを大切に、未永くご活躍されますように。